

特定非営利活動法人（NPO）ぷらちなくらぶ

平成 20 年(2008 年 , 第 8 回)度通常総会議案書

日 時：平成 21 年(2009 年)5 月 26 日(火) 10 : 30 ~
場 所：本法人の事務所

1. 開会挨拶

2. 定足数の報告・議長選出

3. 議事録署名人選出

4. 議題

第 1 号議案 平成 20 年度事業報告承認の件

第 2 号議案 平成 20 年度決算報告承認の件

第 3 号議案 平成 21 年度事業計画（案）承認の件

第 4 号議案 平成 21 年度予算（案）承認の件

第 5 号議案 役員（理事・監事）選出承認の件

5. 閉会挨拶

平成20年(2008年)度事業報告書

自 平成20年4月1日

至 平成21年3月31日

事業

1. 事業の概括

法人格取得から7年が経過し、「自立(自律)支援」と「地域交流の実現」の理念に基づき、営利を追求せず、自発的に公益的活動を実施する特定非営利活動法人(以下 NPO)として、会員の自主的な行動と地域福祉に対する熱い気持ちが結集し、多くの成果を出すことができた。

特に現場で業務を行う者だけが知りえる情報を元に、福祉事業の安定的発展や社会資源の活用による制度改革について各関係機関、特に行政機関との意見交換が出来たと事により今後、行政機関に対し働きかけの道筋が確立された事は大きな成果と言える。

2. 事業活動概要

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人員	実績額(支出額) (単位:千円)
訪問介護事業	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険訪問介護事業 自立支援居宅介護事業 ガイドヘルプサービスのヘルパー派遣並びに自立支援生活支援(身体介護・家事支援・外出介護) 関係機関の研修や協議参加。 技術向上の為に、外部講師による研修。 定例会による、内部研修。 	24時間 毎日	利用者宅及び移動介助先	51人 (介護保険23名) 障害者自立支援	足立区内63名	24,365
			子育て支援センター内事業所内	28名		
子育て支援事業	子育てホームサポート事業	6~22時	利用者宅	78人	398人	39,077
	サポーター養成講座	H20.9.28 ~11.30	生涯学習センター(千住)	5人	24人	
	サロン事業	10~16時 (土日祝日を除く)	西保木間 関原	15人	366人 1,016人	
居宅介護支援事業	高齢者・障害者等ケアプラン作成としての事業	9時~18時	利用者宅事務所	3人	596人 (延べ人数)	5,993
通所介護事業(独自事業)訪問型、通所型	訪問型 ボランティアによる事務局コーディネートと有償スタッフによる在宅生活支援。	8時~22時	事務所(来所・電話) 利用者宅	10人	足立区内8名	148
	通所型 各自が持つ個性と能力を生かし交流を主とする通所サービスの研究として、『風の子まつり』『ボランティア祭』『福祉祭』『男たちのボランティア』の実行委員。 自主活動として幼児対象のコミュニケーション・体操。地域のボランティア団体(障害児ダンス、人形劇、エプロンシアター、遊びの会、生ギター演奏)との交流。 UR都市機構とのワークショップ。	平日・土曜10時~16時	綾瀬子ども家庭支援センター、区庁舎、佐野センター、子育てサロン西保木間・関原、花畑団地集会所	20人	足立区内約200名	

3. 事業の成果

(1) 訪問介護事業

- ・当法人の居宅介護事業所利用者に関しては、ケアマネージャーとの連携により円滑なサービスの提供が出来た。
- ・行政、利用者に対して不足しているサービスや地域の実情などそれぞれが得た情報をもとに、連絡および調整の機会を持ち問題提起を具体的にして相談協議してきた。
- ・介護目標に沿ったサービスが出来るようヘルパーとの連携を蜜にした。
- ・ヘルパー研修についても毎月の定例会や研修の日時を設け、様々な事例を元にヘルパーの質の向上に努めた。
- ・「利用者本位」「自立支援」「利用者による選択(自己決定)」を現実のサービス利用において保証するため、東京都介護サービス情報の公表も行った。

(2) 子育て支援事業

子育てホームサポート事業

- ・区委託事業として6年目に入り本年度は昨年度に比べ39人多い398人の利用があった。また、新規登録者は毎月20人以上あり、徐々にではあるが区民に同サービスが浸透しているといえる。
- ・各サポーターに対し毎月の定例会を設け、様々な事例に対し情報を共有し対策方法を周知する事によってサポーターの質向上に努めた。

サポーター養成講座

本年度は養成講座42時間を受講した24人のうち、13人が新たに子育てサポーターとして登録いただき、子育てホームサポート事業に新たな戦力を得る事ができた。

子育てサロン事業

西保木間、関原両サロンでは昨年度は併せて1,500人弱の利用者があり、さらには定期的なサロンイベントの実施や「健康」「発育・発達」「教育・しつけ」等の一次相談窓口を実施する事により、地域住民が子育てを楽しみまた、母親同士の仲間作りの拠点として大きく貢献したといえる。

(3) 居宅介護支援事業

- ・ケアプランは年度当初(20.4月)47件/月であったが、年度末(21.3月)には58件/月になり累計596件となった。
- ・法の規定により1人35件の上限はあるものの、より必要性の高い高齢者の支援に努め地域における要介護高齢者の生活向上に寄与した。
- ・国の方針により近い将来、療養病棟が削減される方針が打ち出されていることから、医療処置の必要性が高い高齢者が在宅へ戻されることが予想され、より一層医療関係者との連携を重視し、都・区・地域包括支援センター、他事業所等の勉強会に毎月複数参加、更に理解を深める為、事業所に持ち帰り研修を行うなど自立(自律)支援の理念に基づき専門性の高いプラン作成に努めた。
- ・介護支援専門員が1人増え管理者も含め3人になったことで、プラン作成等、いろいろな角度から互いに成長していける環境になった。
- ・東京都の『介護サービス情報の公表』に先立ち行われた調査では困難事例も丁寧な計画を立てている事を高く評価して頂いた。また、地域包括支援センターの研修でも当事業所の対応を研修発表のテーマとして取り上げていただいた。
- ・「居宅介護支援事業」を通して社会に貢献し他事業と共に有効な活動となった。

(4)通所介護事業（独自事業）訪問型・通所型

公的サービスでは実施できない部分の“自立（自律）支援”を生活者の視点で実施しており、「ぷらちなくらぶ」以外のサービスに及ぶ相談にも、適切な橋渡しをしているため数字に繋がらない事も多い。

訪問型サービス

「介護保険」「障害者自立支援」「子育てホームサポート」の規定から外れる内容を柔軟に対応している。特に身体状況や生活環境が急変し、公的サービスも受けられず困惑する本人や家族の心身状況に配慮した対応をしてきた事で感謝の言葉を頂いている。

また、この様な受け皿が有る事で、実際にはサービスの利用をされていない方からも安心の声を頂いている。しかし、利用者からの利用料に対して5%の事務処理費を引いて協力者へ報酬支払をして来たが、安定したサービスの実施が出来る事業とする為に事務処理費の割合を見直す必要が有る。

通所型サービス

高齢・障害・児童といった線を引かずに様々な人と関わり合いながら“個が輝く”形を考えながら公共施設や他団体施設で単発的にイベントを行った。

・組織運営関係

法人組織としての形式に縛られ過ぎず、日々変化する事業形態に合った決定や柔軟に自由な発想で行動できる形を考える時期に来ている。

- ・年度初めにテーマとした研修の強化や評価体系の整備は、徐々にではあるが進めて来られた継続的課題である。
- ・小規模なNPOであっても企業統治の視点をいれ運営方法や組織形態、業務管理、情報システムの合理的な活用により「信用力」を補完する事で法人として社会的信頼を得る努力も続ける一方、業務管理を強化することによって事務手続き等に労力が掛かり本来の業務に支障が出ないように注意が必要である。
- ・行政に対する制度面の問題提起については、介護保険の法改正と自立支援の改正、子育て支援の5年という節目が重なり、慌ただしくも其々の関係者と意見交換の機会を作れた。内容については、行政側の指針を掴む以上に、現場に携わる側の合意を得る事の難しさを感じた。
- ・当法人が将来、理事および従業員が死亡したことにより当法人が被る事業運営費の損失に備え、理事（特定理事）および従業員（特定従業員）を被保険者とし、当法人を保険受取人とする生命保険契約を生命保険会社と締結致した。なお、生命保険契約に基づき支払われる保険金の全額は、事業運営費として当法人の運営費に充当する。

平成20年度(2008年度)決算報告書

収支計算書

自：平成20年4月1日

至：平成21年3月31日

(単位：円)

収入の部		支出の部	
(特定非営利活動収支の部)			
第1項 会費・入会金収入	114,000	第1項 事業費	69,584,302
第2項 事業収入	86,390,642	第2項 管理費	15,462,244
第3項 寄付金・助成金収入	0	第3項 予備費	0
第4項 雑収入・受取利息	1,050,005		
第5項 特別利益収入	35,100		
(その他の資金収支の部)			
第1項 敷金・保証金戻り	0	第1項 借入金返済支出	0
第2項 借入金収入	0	第2項 敷金・保証金等支出	0
(繰越収支差額の部)			
前期繰越収支差額	3,853,597	次期繰越収支差額	6,396,798
合計	91,443,344	合計	91,443,344

貸借対照表

平成21年3月31日 現在

資産の部		負債・正味財産の部	
流動資産	13,013,651	流動負債	9,416,528
固定資産	2,799,675	固定負債	0
		正味財産	6,396,798
合計	15,813,326	合計	15,813,326

損益計算書

自：平成20年4月1日

至：平成21年3月31日

収益の部		費用の部	
(特定非営利活動損益の部)			
第1項 特定非営利活動法人	86,390,642	第1項 事業費	69,584,302
		第2項 管理費	13,662,244
(特定非営利活動外損益の部)			
第1項 受取利息・雑収入他	1,218,778	第1項 法人税等	1,800,000
(繰越利益の部)			
前期繰越利益	410,662	次期繰越利益	2,152,212
		(当期利益)	(2,562,874)
合計	87,198,758	合計	87,198,758

平成20年度 特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

平成21年3月31日 現在

特定非営利活動法人 ぷらちなくらぶ

(単位：円)

科 目	摘 要	金 額	
流動資産			
現金	現金手許有高	70,401	
普通預金	みずほ銀行/綾瀬支店	254,783	
	谷中郵便局	271,037	596,221
立替金			21,665
未収入金	東京都国民保険連合	7,092,477	
	足立区(委託料)	4,844,750	
	利用者負担分	531,538	12,468,765
貸倒引当金			-73,000
流動資産 合計			13,013,651
固定資産 (有形固定資産)			
構築物			
車両運搬具			
工具・器具備品		138,390	
敷 金		206,000	344,390
有形固定資産 計			344,390
繰延資産	介護フソト		2,455,285
繰延資産			2,455,285
資産の部 合計			15,813,326
流動負債			
借入金	大竹恵美子	992,140	
未払費用	3月分ヘルパ - 給与等	5,997,941	
預り金	源泉所得税他	626,447	
未払法人税等		1,800,000	9,416,528
流動負債 合計			9,416,528
負債の部 合計			9,416,528
正味財産の部			
前期繰越正味財産			3,833,924
当期正味財産増加額			2,562,874
正味財産合計			6,396,798
負債及び正味財産合計			15,813,326

平成20年度 特定非営利活動に係る事業会計
貸 借 対 照 表

平成21年3月31日現在

特定非営利活動法人 ぶらちなくらぶ

(単位 : 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金	70,401	借入金	992,140
普通預金	525,820	未払費用	5,997,941
立替金	21,665	預り金	626,447
未収入金	12,468,765	未払法人税等	1,800,000
貸倒引当金	-73,000		
流動資産合計	13,013,651	流動負債合計	9,416,528
		固定負債	
		固定負債合計	0
		負債合計	9,416,528
固定資産		正味財産の部	
(有形固定資産)		前期繰越正味財産	3,833,924
構築物			
電話加入権		当期正味財産増加額	2,562,874
工具・器具備品	138,390		
敷金	206,000		
(投資等)			
繰延資産	2,455,285		
固定資産合計	2,799,675	正味財産合計	6,396,798
資産合計	15,813,326	負債及び正味財産合計	15,813,326

平成20年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

特定非営利活動法人 ぶらちなくらぶ

(単位:円)

科 目	金	額
(資金収支の部)		
・ 経常収入の部		
1. 会費・入会金収入		114,000
入会金	0	
正会員会費	114,000	
2. 事業収入		86,390,642
訪問介護事業		34,681,455
・訪問介護	19,491,801	
・自立支援	14,907,327	
・ぶらちな独自	282,327	
子育て支援事業		44,502,785
・子育てホ - ムサポ - ト	38,638,360	
・西保木間サロン	2,700,000	
・関原サロン	2,700,000	
・子育て養成講座	464,425	
通所介護事業		0
居宅介護支援事業		7,206,402
3. 助成金・寄付金収入		
4. 雑収入・受取利息		1,050,005
受取利息(預金利息)	8,331	
雑収入	1,041,674	
5. 特別利益収入		35,100
貸倒引当金戻入	27,000	
納税充当金戻入	8,100	
経常収入合計		87,589,747
・ 経常収出の部		
1. 事業費支出		69,584,302
訪問介護事業費		24,365,289
・訪問介護	11,610,127	
・自立支援	12,755,162	
子育て支援業費		39,077,086
・子育てホ - ムサポ - ト	33,945,490	
・西保木間サロン	2,523,454	
・関原サロン	2,340,812	
・子育て養成講座	267,330	
通所介護事業費		148,300
居宅介護支援事業		5,993,627
2. 管理費支出		15,462,244
給料手当	4,291,000	
福利厚生費	341,728	
会議費	21,844	
旅費交通費	496,919	
通信運搬費	1,092,858	
消耗什器備品費	649,779	
事務用消耗品費	533,009	
賃借費	1,380,000	
保険料	154,102	
租税公課	25,568	
渉外費	18,350	
水道光熱費	185,818	
研修会費	37,720	
法定福利費	2,789,838	
リ - ス料	1,347,737	
減価償却費	84,665	
雑費	211,309	
法人税等	1,800,000	
経常収出合計		85,046,546
経常収支差額		2,543,201
当期収支差額		2,543,201
前期繰越資金有高		3,853,597
次期繰越収支差額		6,396,798

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人 ぶらちなくらぶ

理事長 大竹恵美子 殿

平成 21 年 5 月 14 日

特定非営利活動法人 ぶらちなくらぶ

監 事 平野のぶえ



私は、平成 21 年 5 月 14 日 特定非営利活動法人 ぶらちなくらぶの事務局において、平成 20 年度（平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで）における業務及び会計の監査を実施し、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法と概要

- (1) 業務監査については、事業計画にもとづき議事録綴りその他関係書類を閲覧するほか、理事会及びその他の会議に出席し、業務報告を聴取するなど、必要と思われる監査方法により、業務執行の妥当性について監査した。
- (2) 会計監査については、収支予算書を参考に、収支について帳簿及び関係帳簿並びに証拠書類の閲覧突合するなど、必要と思われる監査方法により、計算書類の正当性について監査した。

2. 監査意見

- (1) 事業報告書の記載内容は、真実なものであることを認めます。
- (2) 理事の業務執行において、監査の結果、不正の行為又は法令、定款に違反する重要な事実はないものと認めます。
- (3) 収支計算書、貸借対照表および財産目録は、会計帳簿の記録、金額と一致し、当法人の収支状況及び財政状態を正しく表示しているものと認めます。

平成21年(2009年)度事業計画(案)

自 平成21年4月1日
至 平成22年3月31日

1. 事業方針

平成21年度は子育て支援事業では新たに梅島サロン(親子サロン、一時預かり)がスタートし、訪問介護事業、居宅介護事業においても受益対象人数が拡大する事が予想され、地域社会に対しさらに責任が大きくなっているのが現状である。

そのため、各事業に対し今まで以上に法人設立からの設立理念を再認識すると同時に、組織運営についても見直しを行うが、決して旧態依然とした型にはめず実験的要素を随所に取り入れ、各事業運営を迅速かつ円滑に行えるような組織体制を構築していく。

なお、行政機関に対しては昨年に引き続き対話を継続し、積極的に行政施策の見直しを働きかける。

2. 各事業計画概要

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人員	実績額(支出額) 単位:千円)
訪問介護事業	・介護保険訪問介護事業 ・自立支援居宅介護事業 ・ガイドヘルプサービスのヘルパー派遣並びに自立生活支援(身体介護・家事支援・火移出介護) ・定例会 ・研修	24時間 毎日	利用者宅及び移動介助先 事業所内	40人(介護保険20名・障害者自立支援20名)	足立区内60名	30,000
子育て支援事業	・子育てホームサポート事業	6~22時	利用者宅	80人	450人	43,700
	・サポーター養成講座	H21年7月	こども家庭支援センター	5人	40人	
	・サロン事業(一時預かり保育を含む)	10~16時 (土日祝日を除く)	西保木間 関原 梅島	20人	400人 1,100人 200人	
居宅介護支援事業	高齢者・障害者等ケアプラン作成としての事業	9~18時	利用者宅	3人	596人 (延べ人数)	8,000
通所介護事業(独自事業)訪問型・通所型	訪問型 ボランティアによる事務局コーディネートと有償スタッフによる在宅生活支援。	8~22時	事務所(来所・電話)利用者宅	10人	足立区内10名	250
	通所型 ・各自が持つ個性と能力を生かし交流を主とする通所サービスの研究として、『風の子まつり』『ボランティア祭』『福祉祭』『男たちのボランティア』の実行委員。 ・自主活動として幼児対象のコミュニケーション・体操。地域のボランティア団体(障害児ダンス、人形劇、エプロンシアター、遊びの会、生ギター演奏)との交流。UR都市機構とのワークショップ。	平日・土曜 10~16時	綾瀬子ども家庭支援センター、区庁舎、佐野センター、 子育てサロン 西保木間・関原、花畑団地集会室	20人	足立区内約200名	

3. 事業目標

(1) 訪問介護事業

- ・ ノーマライゼーションの視点から利用者の価値観や生活習慣を尊重し、生活基盤を整えながら利用者の潜在能力を引き出し自立を導き出す支援を心がける。
- ・ 行政にも相談、助言を求め利用者や家族の心のケアに対しても迅速対応できる良いサービス提供を心がける。

(2) 子育て支援事業

子育てホームサポート事業

サポーター、コーディネーターの研修に力を入れ、より良いサービス提供を心掛ける。また、利用者からの言葉に耳を傾け、地域社会に有益な制度の形を提供する。

サポーター養成講座

夏と秋にサポーター養成講座を実施すると同時に、新たなサポーターの掘り起こしを行う。

子育てサロン事業

5月より梅島に新しく一時預かり、親子サロンを開設する。西保木間、関原と共に子育て家庭の地域交流の場として有効に活用されるよう心掛ける。

(3) 居宅介護支援事業

利用者の意見も取り入れニーズにあったプラン提供だけでなく、自立（自律）支援の法人理念に沿って広く情報提供を行っていく。また、社会に貢献する意味でも国、保険者等各関係機関にも問題提起をしていく。

(4) 通所介護事業（独自事業）訪問型・通所型

地域の期待に応えられる様、NPOの視点と独自性を織り交ぜ“地方自治体や他団体との協働”を視野に入れて、生活者としての人間力が生かせる事業の形にする事を意識して行政や他団体との意見交換も積極的に行う。

- ・ 訪問型のサービスは安定した事業の継続の為に、新年度（平成21年4月）からは消費税も含め10%の事務処理費を利用料から差し引いて協力者へ報酬として支払をする。
- ・ 通所型のサービスについては研究段階であるが定期的な交流事業の実施に努める。

2. その他の計画

(1) 組織運営関係

- ・ 事業規模の拡大と地域社会に対し組織としての責任が大きくなっている事を自覚し、事務局内の管理・運営の業務分掌を明文化する事や正会員が質の高い行動をとれる様に研修や福利厚生（退職金を含む）を充実させる事に重点を置く。但し、型式に捕われて“小回り良く動くNPO”としての持ち味を生かせなくなる事が無い様に配慮していく。
- ・ 行政施策の内容については法改正の時期を問わず、続けて意見交換の機会を作る。
- ・ 事務の効率化を促進するため、以下事項について理事協議決定事項から事務局合議制決定事項に権限移譲を行う。
 - 新規事業の企画および実施

- 300 万円以下の事務所内外什器備品およびソフトウェア並びに関連する物品等の購入。
- 運営資金借入金（500 万円を限度額とする）
- その他迅速に対応、決断する事項および業務に関連する一切の件

(2) 広報関係

既に実施しているホームページリニューアルに合わせ、情報開示の視点から事業情報を中心にホームページを活用し当法人の情報公開を行っていく。

平成21年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書(案)

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

特定非営利活動法人 ぶらちなくらぶ

(単位:円)

科 目	金	額
(資金収支の部)		
・ 経常収入の部		
1. 会費・入会金収入		110,000
入会金	0	
正会員会費	110,000	
2. 事業収入		98,138,000
訪問介護事業		37,000,000
・訪問介護	22,000,000	
・自立支援	15,000,000	
子育て支援事業		51,238,000
・子育てホ - ムサポ - ト	41,000,000	
・西保木間サロン	3,024,000	
・関原サロン	3,024,000	
・梅島サロン・一時預かり	3,800,000	
・子育て養成講座	390,000	
通所介護事業		300,000
居宅介護支援事業		9,600,000
3. 助成金・寄付金収入		
4. 雑収入・受取利息		200,000
受取利息(預金利息)	100,000	
雑収入	100,000	
5. 特別利益収入		60,000
貸倒引当金戻入	30,000	
納税充当金戻入	30,000	
経常収入合計		98,508,000
・ 経常収出の部		
1. 事業費支出		81,950,000
訪問介護事業費		30,000,000
・訪問介護	18,000,000	
・自立支援	12,000,000	
子育て支援業費		43,700,000
・子育てホ - ムサポ - ト	35,000,000	
・西保木間サロン	2,700,000	
・関原サロン	2,700,000	
・梅島サロン・一時預かり	3,000,000	
・子育て養成講座	300,000	
通所介護事業費		250,000
居宅介護支援事業		8,000,000
2. 管理費支出		16,170,000
給料手当	5,000,000	
福利厚生費	350,000	
会議費	30,000	
旅費交通費	500,000	
通信運搬費	1,100,000	
消耗什器備品費	500,000	
事務用消耗品費	500,000	
賃借費	1,380,000	
保険料	150,000	
租税公課	30,000	
渉外費	20,000	
水道光熱費	190,000	
研修会費	300,000	
法定福利費	3,000,000	
リ - ス料	1,400,000	
減価償却費	420,000	
雑費	300,000	
予備費	1,000,000	
経常収出合計		98,120,000
経常収支差額		388,000
当期収支差額		388,000
前期繰越資金有高		6,396,798
次期繰越収支差額		6,784,798

理事及び監事選任の件

各理事(5名)及び監事(1名)は、平成21年4月30日を以って任期満了となりますので、新たに理事及び監事を選任したいと存じます。

現在の役員構成

理事長	大竹恵美子
理事	薯野純子
理事	田崎和夫
理事	熊谷英雄
理事	三井元子
監事	平野のぶえ

理事及び監事候補者については、次のとおりであります。

- * 理事 大竹恵美子
- * 理事 團野純子
- * 理事 田崎和夫
- * 理事 熊谷英雄
- * 理事 三井元子
- * 監事 谷口良実